

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	三重県鳥羽市立答志小学校
授業者	齋藤 哲彦

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

海の環境問題を調べよう

#### 1-2. 学年

6年生

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

#### 1-4. 単元の概要

子どもたちの生活と密接に関わる海に、近年様々な問題、課題が見られるようになってきている。ごみの問題であったり、漁獲量の減少の問題であったりと、子どもたちが感じる問題や課題も出てきている。一方で美しい景観、水質を直接感じられる環境で暮らしているのも事実であり、この環境を守っていかねばならないと感じている児童も多い。そこで、世界規模での環境問題と自分たちの身近にある問題をテーマに、どのような問題があり、その取り組みや自分たちができることを調べ、地域への関心や愛着を高める。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

- 答志島の海の環境を調べ、自分の生活との関連を調べる。
- 自分が関心を持った環境問題について、視野を広げできることを考え、発表する。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・環境保全の必要性を認識し、その問題に主体的に取り組もうとする態度を育てる。
- ・世界規模の海の環境問題、身近な海に環境問題の取り組みを知り、自分の生活で実践する能力を身につける。

1-7. 単元の展開（全8時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	海で環境で気になっていることを出し合い交流する。	○教師の指導：昨年の水産業の学習や身近な海を想起し、課題を設定する。 ○主な評価：課題設定 ○使用教材等：ワークシート タブレット
2 3	学校に隣接する大間の浜を歩き、ごみの調査を行う。	○教師の指導：見学の引率 ○主な評価：情報収集 ○外部連携：鳥羽磯部漁協答志支所（使用許可） ○使用教材等：タブレット（カメラ）
4 5	どんなごみが多いかを調べ、そのごみが多い原因を調べる。	○教師の指導：情報収集の支援 ○主な評価：情報収集 ○使用教材等：ワークシート、タブレット
6	SDGs について学習し、環境問題が世界的な問題であることを知る。	○教師の指導：SDGs の説明 ○主な評価：情報収集 ○使用教材等：タブレット、テレビモニター
7	自分の生活と関連付けて、自分が行動できることを考える。	○教師の指導：話し合いの補助 ○主な評価：課題解決 ○使用教材等：タブレット（ロイロノート）
8	調べてきたことをまとめ、クラスでプレゼンテーションを行う。	○教師の指導：発表の補助（音声、準備物） ○主な評価：発信 ○使用教材等：タブレット（ロイロノート）

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

自分の生活と関連付けて、自分が行動できることを考え、プレゼンテーションする。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1. 自分の生活や、身近な海の環境問題を話し合う。	・家業が漁業の児童には、家族から聞きとった内容を伝えるように指導する。遊びや生活の中で感じていることも発表させる。（評価の視点：発表）
2. 自分が行動できることを考え、具体的な行動を計画する。	・計画が難しい児童には、ごみや排水の問題でできることを考えさせる。（評価の視点：ロイロノートの記述）
3. クラスの友達に伝わるプレゼンテーションを準備する。	・自分が撮影した写真やインターネットを用いて集めた資料をもとにプレゼンの原稿を作成させる。（評価の視点：ロイロノートの記述）
4. 海の環境問題について、自分ができる行動をプレゼンする。	・世界の環境問題や身近な環境問題について、自分ができる行動を発表させる。（評価の視点：発表）
5. 感想交流をする。	・友達の計画した行動で、自分ができそうなことを中心に交流する。（評価の視点：発表）

### 3. 今回の活動の自己評価

- ・世界規模で環境問題の解決のために協力しなければいけないと認識した児童が多かった。
- ・自分たちがごみ問題についてポスターなどで啓発したいという児童もいた。
- ・自分たちの生活と、海の環境問題が大間の浜で調査したごみを通して気づくことができた。

### 4. 今後の課題

- ・漁協との連携、漁業者との連携で、海のごみの問題が漁業に与える影響を調べられると、子どもたちの関心をもっと高まると思う。
- ・ごみ問題について行動していきたいことを、実践するところまで行けなかった。（ごみを海へ捨てないなどのことは実践した児童はいた。）実践して、そのふり返りまで行いたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。